



豊後 力議員

学校統廃合事業について

問 ゆとり教育から近年新たな教育基本方針が示され、子どもたちにとってはハードルの高い教育を強いられていくが、教育長の考えを伺いたい。又、複式学級及び統廃合についてのメリット、デメリットを伺いたい。

答 (教育長) 現在の教育課程は、昭和22年からスタートしこれまでほぼ10年ごとに改定され今回、前回の改定から10年目を迎えている。

改定の基底にあるのは日本の子どもの学力定着状況、学力実態調査、文科省が行っている小6、中3を対象とした学力テストがあり、その結果を踏まえ、課題や問題点が検討され大きな流れとして国の教育関係の法律が改定された。教育基本法の改正をスター

トに学校教育法、教員の免許法改正等々に教育基本法、学校教育法の中で大きく変わったのが小学校5年6年に外国語が導入されこのことは新教育課程の中心と考える。

小学校課程で外国語を導入し、中学校の専門的な英語教育の礎にしたいという願いがある。

そのつながりも小中連携の中で教員の連携、建物の教育整備等も改定の根底にある。

学校現場に対して、教育委員会としては児童、生徒を指導する教師の指導力向上、更に指導内容、指導方法の工夫、教育環境づくりに努めていく。

複式教育のメリット、デメリットに関してはメリットと、とらえた場合、指導面からすれば1人1人に手が届くということがある。

デメリットと、いうふうに思いますと2学年の子どもたちが、一教室で1人の担任教師が授業するため時

間の拘束等がある。

複式学級の解消というのは学力の保障だけでなく、集団の中で子どもたちが切磋琢磨し自らの判断能力、振興能力を備える力を養うことにあると思う。

これらを踏まえ小中一貫教育を目指しながら教育環境を整えていく。

問 平成17年から統廃合事業について協議されてきたが今後の具体的な方針及び体制作りをどのように進めるのか町長に伺いたい。

答 (町長) 和水町の教育環境を整える事で豊かな心を育み、少子高齢化解消、健全財政の中で元気活力あるふるさと和水町を目指す。

今後の教育環境整備の中で基本的な計画として、菊水地区の教育エリアを1つ、三加和地区に教育エリアを1つ、これを根底に小学校1校、中学校1校とし小中一貫教育を目指しながら教育環境を整えていく。

統廃合推進委員会を6月28日に初回の会合を開き、

これまで検討してきたことをさらに煮詰め納得の上、候補地の選定を頂き確定後諸般の手続き、行政手続きを行い27年度開校を目指し取り組んでいく。



学校統廃合推進委員会



小山 曉議員

観光による町づくりについて

— 具体的観光振興策は —

問 選挙公約の中で『新しいふる里』和水町を創るための基本政策として『観光による町づくりを力強く推進し、経済の向上をめざしたい』との指針が示されたが、観光による町づくりの具体的な振興策について伺う。

答 (町長) 九州新幹線全線開業を視野に入れ、旧町間道路の案内が不足しているため、本庁から総合支所に向けての観光案内板を整備する。

具体的には、三加和総合支所・田中城跡・腹切り坂・八つの神様等の案内表示を予定。その他、モニターツアーの実施、イベントに合わせた観光ルートの開発、新たな観光パンフレットの作成を行い、近隣市町や関係機関に配布し、和水町の観光PRを積極的に

進めていく。

問 現在、町内を訪れる観光客の人気スポットは『八つの神様』御利益めぐりで、福岡市内や北九州方面からツアーを組んで、年間相当数の来客があつているが、参拝者が多いため参道(里道)がひどく傷んでいる箇所がある。

観光振興面から、何とか地元と協議して整備できないものか。

答 (町長) 里道に関しては、現在町へ権限が委譲されているので、現場状況を把握した上で、改善策をみつけていきたい。

『江田船山古墳公園』観光案内板設置について

問 昨年からの懸案となつていた江田船山古墳の周辺や肥後民家村一帯の名称が、ようやく『江田船山古墳公園』として統一され、本町観光シンボルとして県道沿いに500万円の制作費を投入して、観光案内板を設置したが、肝心な名板の文字が

見えないため、85万円の追加支出による手直し工事によって、ようやく整備されたものであるが、竣工検査は、いづどのような方法で行われたのか伺いたい。



『江田船山古墳公園』観光案内板設置

答 (町長) 大変ご心配ご迷惑をおかけしたが、竣工検査は3月31日に行つてい

答 (経済課長) 竣工検査については、設計書を基準に行つた。

問 今回の工事について、施工業者は、工事請負契約書に従つて、文字や色彩・配色等すべて設計仕様書通り施工されていたらと理解してよいのか。又、竣工検査の際、名板の文字については、何も問題なかったのか。

答 (経済課長) 竣工検査は、設計書通り施工されていたの

で問題はなかった。

問 工事費500万円が高いか、安いかわという問題ではなく、完成した施設が機能を果たさないために、あらたに支出を余儀なくされた今回の結果について、町長はどう受け止めているのか伺いたい。

答 (町長) あらたな支出を要したことに対して、大変申し訳なく思つてい

小中学校統廃合問題について

問 今回の町長選挙は、小中学校一貫校建設問題が争点となり、結局大差で建設容認という一定の民意が示されたが、これまで以上にその責任は重くなると考えられるが、合併特例債期限2015年までの青写真をどのように描いているのか伺いたい。

答 (教育長) 基本的には平成27年度開校を最終目標として、26年度までには、校舎建設を完成させ、もろもろの条件整備を進めていきたいと思つてい

い、具体的な作業に入つてきたい。

問 統廃合の進め方については、今後菊水・三加和両地区ともに同時並行で取り組んでもらいたいと思うがどうか。

答 (町長) 同時に進めていきたい。

問 学校統廃合問題について、町長は所信表明の中で『これまで積み重ねてきた経緯を尊重しながら取り組んでいく』と強調されたとおり、2年前の議会で発表された建設計画にもとづいて、今後も町民に支えられる学校づくりを念頭において、それこそ日本一素晴らしい学舎を造ってもらいたいと要望するが、町長の思いについて伺いたい。

答 (町長) 長く時間をかけ協議してきてよかったと最終的には喜んでいただける教育環境を整えることである。すなわち、豊かな心を育む環境の整備とあらゆる面で少子化解消に向けた取り組みを行い、中長期的に健全な財政運営ができるよう努めていきたい。